

日本医史学会関西支部 2024年 秋季学術集会

日時 令和6年12月8日(日)

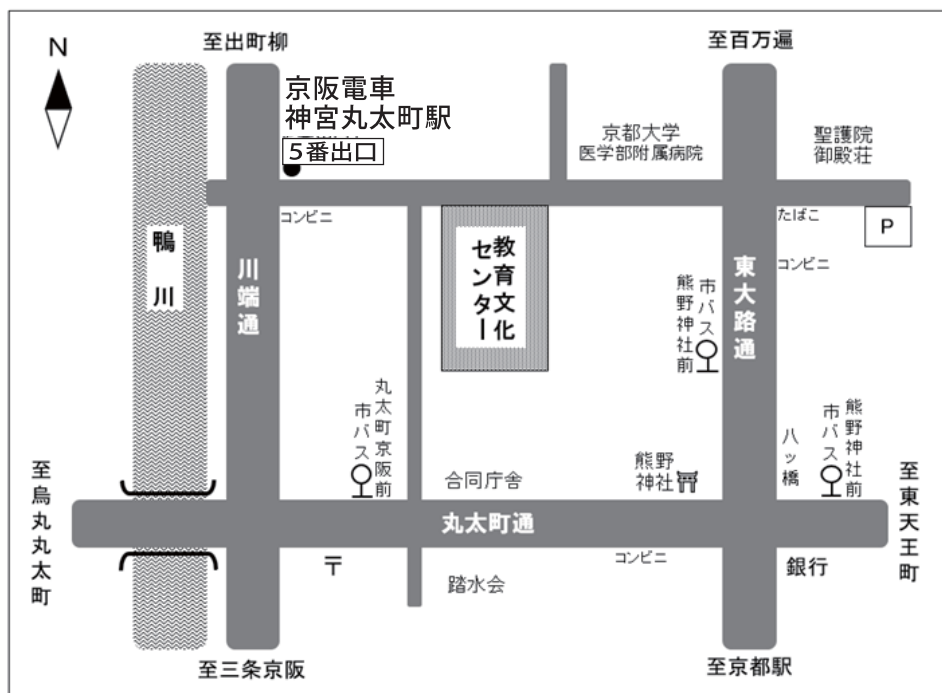
受付 午前9時 開演：午前9時30分

会場 京都教育文化センター 301号室

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町4-1-3

☎ 075-771-4221

参加費 2,000円 学生・院生 無料



主催／日本医史学会関西支部

共催／日本医史学会、太田家史料研究会

立命館大学生存学研究所、岡山医学史研究会

プログラム (敬称略)

9時30分 《一般演題》 — 座長 — 島山奈緒子

1. 日本における打膿の展開 — 経過報告パート3 谷田保啓 (名古屋市)
2. 土肥慶藏著『世界黴毒史』文献からの起源について
高橋正子 (名古屋市)
3. 『傘灸』の考証 姜 姍 (京都市)
4. 岡山大学鹿田図書館所蔵の尾張浅井家関連医書群について
松木宣嘉 (高松市)

10時35分 — 座長 — 田中祐尾

5. 神戸時代のラフカディオ・ハーン(小泉八雲)の眼を診察した
エドワード・パピリエル医師 飯塚修三 (西宮市)
6. 曲直瀬正純の『亨徳院累系并由緒』について 今井 秀 (豊中市)
7. ルイス・デ・アルメイダとトードス・オス・サントス王立病院
相川忠臣 (長崎市)
8. 中世イスラム世界の「心の医学」の展開と特質について
尾崎貴久子 (横須賀市)

11時40分 関西支部総会

支部長挨拶 猪飼祥夫
事務局長報告・伝達 田中祐尾
『医譚』賞 横浜商科大学准教授 久保輝幸
牡丹芍薬の本草学的研究、『本草概説』中訳本の成果

————— 昼休み —————

13時00分 《特別講演》 — 座長 — 猪飼祥夫（支部長）

入浴と養生

立命館大学 衣笠総合研究機構
特別招聘准教授 川端美季

14時05分

— 座長 — 三鬼丈知

9. 『馮氏藏明刻春宮善本圖冊』について 永塚憲治（函館市）
10. 名古屋玄医における『仲景医書』と『難経』
松岡尚則、永塚憲治、安部郁子（高知市）
11. 大槻玄沢『病家十誤』（1804）にみる病家の心得 平尾真智子（京都市）
12. 『漢洋医事問答并論医絶句』について 関屋成彰（京都市）
13. 太田家史料の古活字版『玉機微義』について 島山奈緒子（京都市）

15時25分

— 座長 — 今井 秀

14. 劉家と久野家 — 幕末明治期の儒家と医家の縁戚関係 —
長野 仁（神戸市）
15. 「糸毬」から「糸球体」に至る医学用語の変遷 野村信介（山添村）
16. 野呂天然『生象止観』（京大蔵）の写本部分について
西嶋佑太郎（京都市）
17. 『彌性園方函』引用書考 三鬼丈知（大阪市）
18. 『先代舊事本紀大成経』『醫綱本紀』について 猪飼祥夫（京都市）

16時40分 閉会の辞

支部長 猪飼祥夫

《紙上発表》

1. 関東大震災の横浜バラック住宅にみる生活復興
鈴木紀子（東京都）

《注意事項》

- ▼ 演者の持ち時間は口演14分/質疑1分の計15分です。
座長は終了1分前にアラームをかけ、タイムアップ後は質疑応答などフロアで続行してください。時間厳守をお願いします。
- ▼ 遠方の演者など当日順番差し替えの場合あり。ご了承ください。
- ▼ 発表者は大会後早急に抄録を提出してください。
次々号『醫譚』に掲載します。概ね2頁2,600字以内でお出してください。
抄録とは別に絵図など多い人には『醫譚』への完全投稿を期待します。
この場合『醫譚』 「投稿規定」をお読み下さい。
- ▼ 発表はパワーポイントに限ります。
データは事前に事務局へ送付か当日受付へ。
紙資料の配布は40部、原則当日持参ですが、困難なら予めご相談ください。
- ▼ 『醫譚』の1938年創刊以降のバックナンバーUSBの頒布を受付で行います。
3,000円です。
- ▼ 施設内で食事は出来ませんので、皆様外食となります。
懇親会はありません。

＜連絡先＞

○ 日本医史学会関西支部事務局

〒581-0003 大阪府八尾市本町5-1-7 田中医院内

FAX 072-993-1237 事務局長携帯 090-5669-8213

E-mail sachio-tanaka@umin.ac.jp

＜お願い＞

会員名簿整備のため 氏名・住所・所属・電話番号・E-mailアドレスを事務局 (sachio-tanaka@umin.ac.jp) までお送り下さい。

E-mailアドレスが不明な方が多数おられますのでご協力をお願いします。
また、新規会員のご紹介等よろしくお願ひいたします。

《MEMO》